

# さんようおのだ 議会だより

新春インタビュー — 2

委員会レポート — 4

一般質問 — 8

議会報告会 — 12

視察報告 — 13

お知らせ — 14





# 新春インタビュー ～新議長・副議長に聞く～ 山陽小野田市議会の

新年明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いいたします。

広報広聴特別委員会では新春特集として、  
昨年10月臨時議会で就任した尾山信義議長、  
吉永美子副議長にインタビューを行いました。  
二人の熱い思いをお伝えいたします。  
(聞き手：河野朋子委員長)



## ■ 議長室を情報交換の場に

### — 議長室の印象は

(議長) 市長室には郷土の民芸品など多いが、議長室は少し殺風景。市民にも来てもらえるような雰囲気のできたらと思う。議員の皆さんにも気軽に来ていただき、情報交換やコミュニケーションの場にもしたい。

(副議長) 議長室は少し入りにくい感じがするので、ソファのレイアウトなど工夫して市民や議員の皆さんも来やすいようにできるといい。

### — 12月議会を終えての感想は

(議長) 思った以上に議長席が高かったが、全体をよく見渡せることもでき、12月議会は何とか無事終えることができた。議長の議事整理権については、常々きちんとルールに沿って進めるべきだと思っていたが、それを実行した。

(副議長) 副議長席も全体がよく見渡せる。議長を補佐すべく見守っている。

## ■ 「開かれた議会」に向け 議会改革を

### — 議長、副議長就任の抱負は

(議長) とにかく議会改革を目指したい。特に議

員同士の自由討議ができる体制をつくりたい。議員個々の活動も大切だが、例えば若者の人口定住策など議会全体の目標をつくって、それに向けて全員が協力していくことも大切だと思う。議長のリーダーシップとしてできること、議会全体でできることを明確にして取り組みたい。

(副議長) ホースの中の水が常に流れていないとよどむように、議会も留まっていたはいけない。常に前進すべきだと思う。

### — 議会改革に寄せる思いは

(議長) 二元代表制の一翼として議会の体制を強化していくべきであり、個々の資質の向上も必要だと思う。議会基本条例の制定もまもなくで、さらには先般の広報広聴特別委員会の立ち上げによって「開かれた議会」に向けて議会改革が進むと思う。

(副議長) 議会基本条例が制定された後、これが具体化されることで議会改革が進むと思う。これまでの“名誉職的”な議員の意識も変わっていくのではないかと期待している。

# これから

## ■ 議会基本条例の運用について議論を

### 一 「開かれた議会」を実現していく具体策は

(議長) 「開かれた議会」についての捉え方は議会の中でもさまざまである。条例制定後は運用についてしっかり議論していく必要がある。

(副議長) 議会内の横断的組織として「委員長会議」を開催してはどうかと議長に提案し、進めてもらっている。閉会中の委員会活動も含めて議会が活発に動くべきだと思う。「議会の見える化」を進め、その動きが市民によく見えるようにしていかないといけない。

### 一 今の議会に期待すること、注文など

(議長) 個々の議員がもっと勉強すべきだと思う。また会派は政策集団として活動すべきだと思う。

(副議長) 議会の傍聴市民を増やしたり幅を広げるために、もっと議会自ら直接呼びかけてはどうか、また報告会の開催などは、単独で行うだけでなく他団体の行事とコラボレーションするなど工夫が必要だと思う。

議長室も模様替えをされるようですが、議会も改革に向けて新しく変わることを期待してインタビューを終わります。ありがとうございました。



お知らせ

## 各委員会の所属委員を紹介します

### 委員会構成

10月臨時会において、3つの常任委員会、議会運営委員会の構成も新たなメンバーが選任されました。

#### ◇ 総務文教常任委員会

総務部、総合政策部、監理室、債権特別対策室、教育委員会、消防本部の所管に属する事項と、他の委員会に属しない事項を担当します。

- ・委員長 伊藤 實
- ・副委員長 河野 朋子
- ・委員 伊藤 武 河崎 平男  
高松 秀樹 中島 好人  
中村 博行 平原 廉清

#### ◇ 民生福祉常任委員会

市民生活部、健康福祉部、病院局の所管に属する事項を担当します。

- ・委員長 大井 淳一郎
- ・副委員長 矢田 松夫
- ・委員 石田 清廉 岩本 信子  
小野 泰 下瀬 俊夫  
三浦 英統

#### ◇ 産業建設常任委員会

産業建設部、水道局、農業委員会の所管に属する事項を担当します。

- ・委員長 衛藤 弘光
- ・副委員長 松尾 数則
- ・委員 江本 郁夫 大空 軍治  
硯谷 篤史 山田 伸幸  
吉永 美子

#### ◇ 議会運営委員会

議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例、議長の諮問に関する事項などを担当します。

- ・委員長 伊藤 武
- ・副委員長 下瀬 俊夫
- ・委員 石田 清廉 硯谷 篤史  
高松 秀樹 平原 廉清



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

### 一般会計

#### ● 23年度補正予算（第7回）

#### 市税の落ち込みと人件費の増額

**概要** 歳入については市民税やたばこ税の増額にもかかわらず、固定資産税が1億1592万4000円の減額となり、市税全体で1480万円の減額となりました。また、普通交付税は9440万9000円、繰越金は2億7451万3000円の増額となりました。

歳出の中で、人件費によるもののうち、主なものは職務の昇給昇格の見直し、係長級未満の職員の給与カットの廃止などです。この中で給料カット廃止に伴うものは2742万9000円です。

来年度には第5回の現代ガラス展が開催されるため、実行委員会負担金として200万円増額し、その結果ガラス展における市の総負担額は710万円となりました。

きらら交流館の大浴場の「溶解タンク」の修繕と調理室周辺の水道管漏れと隣室の和室修繕のため223万5000円の増額となりました。

#### もっと歳入確保に力を

**主な論点** 歳入においては、固定資産税の大きな落ち込みに対して将来の懸念が示されたり「現状では企業の申告制になっている償却資産について、実態調査を行うなどして、歳入確保にもっと力を入れるべきではないか」「税務課の職員配置にもっと重きをおくべきではないか」といった指摘がされました。

歳出の修繕料について、壊れてから修理

するよりも計画的にメンテナンスをする方がコストが安いので、きちんとした整備計画書をつくるべきといった意見が出されました。

**結果** 施設の修理については優先順位を考えたしながら計画的にしたいとの説明があり、可決しました。

（全員賛成）



きらら交流館

### その他

#### ● 土地の処分

#### 普通財産の売り払い

**概要** 下水道事業の全体計画の見直しにより、用途廃止がされ普通財産となった山陽水処理センターの敷地の一部を、隣接の日本化薬株式会社に売り払うもので、売払価格は5150万7550円です。

**主な論点** 「取得時の地方債の償還については済んでいるのか」「水処理センターの出入口について支障はないのか」などの質疑がありました。

**結果** 今回売却する土地は昭和52年に補助事業で購入したため、約3100万円を国に償還金として返すという説明を受けた後、可決しました。

（全員賛成）

## ■ 民生福祉常任委員会

### 特別会計

#### ● 23年度国民健康保険会計補正予算(第1回)

#### 計画的に受診率アップを図れ

**概要** 退職被保険者の増加に伴い国保料、療養給付費交付金や22年度の繰越金が増額し、一方歳出では保険給付費、国、県交付金の償還金、基金積立金をそれぞれ増額されました。

**主な論点** 医療費の抑制は保険料を抑えることにつながる。そのためにもがん検診の受診率を上げることが重要だが、昨年よりわずかに上昇し16.5%にとどまった。国の目標50%に対して、本市の目標25%であり、もっと本気の対策が必要ではないかとの議論がされました。

**結果** 「今後一層の高齢化が進み医療の上昇に伴い国保料も上がる」「より具体的な計画性のある対策を検討することが緊急の課題」との指摘がされて可決しました。

(全員賛成)

### 条例

#### ● 山陽小野田市暴力団排除条例の関連条例

#### 暴力のない、安全で平穏な市民生活を

**概要** 9月議会において議決された市暴力団排除条例が平成24年1月1日から施行されることに伴い、市の施設利用許可に関する21の条例において暴力団を排除するための規定を加え、条文の整理を一括して行うものです。

**主な論点** 「暴力団であるとの判断基準が曖昧

だ」「露天商等の判断をどのように対処するのか」議論しました。

**結果** 今後警察とも連携しながら、さまざまな状況に対応し検討を加えて、より実効性のあるものにしていくことで可決しました。

(全員賛成)

### その他

#### ● 指定管理者の指定

#### 管理者の審査認定基準は適正か

**概要** 小野田斎場、山陽斎場を(有)北斗産業に、中央福祉センターを山陽小野田市社会福祉協議会に指定管理者とし指定するものです。

**主な論点** 「2施設とも前期に引き続き同じ業社が指定されたが実績及び改めての審査に問題はないのか」「施設管理運営面の利用者へのサービス向上を考慮したのか」との議論がありました。

**結果** 両者とも選定委員会の審査項目に適合しているとの報告があり可決しました。

(全員賛成)



中央福祉センター



# 委員会レポート

## ■ 産業建設常任委員会

### 条 例

#### ●都市公園条例の一部改正

#### 県立江汐公園が市へ移管

**概要** 昭和 39 年度に旧小野田市の都市公園として 4 ヘクタールを供用開始以後、昭和 48 年度からは総事業費約 50 億円を投じ、全体面積約 143 ヘクタールの県立公園として整備されてきました。平成 22 年 7 月に県から市へ移管の提案があり、以後 15 回の協議を重ねてきた結果、市としては移管を受け入れることに「異存なし」の結論に達したので関係条例を整備し、平成 24 年 4 月 1 日から本市の都市公園としようとするものです。質疑に入る前に委員全員で、更新予定の遊具や改修中の江汐大橋など公園全体を視察いたしました。

**主な論点** 「県の行政改革の一環としての位置付けはわかるが、受け入れる市にもメリットはあるのか」「現在老朽化が進んでいる施設や遊具の整備負担はどうなるのか」「市に移管後の有効活用についてはどう考えているのか」「事業主体者として、将来の施設等の更新や交流人口の増加を図るための新たな投資にも備えなければならないが、計画はどうなっているのか」等々について議論しました。

**結果** 「移管によって市の公園面積が増え年間約 5000 万円の交付税増が見込める。一方老朽化している橋梁、遊具等は県が大規模改修をした後移管されるので、近い将来の財政負担はなく、また当面の維持管理費は年間約 2450 万円程度であり十分財政的にもメリットがある」「今後の管理体制について

は、平成 25 年度から指定管理者制度を導入し、民間活力を生かしたいと考えている」以上のような質疑応答を重ねた後、委員会として、増額される交付税のうちから将来負担に備えて一定割合を積み立てる「基金」の創設を市長に提案し、了解を得たことにより可決しました。(全員賛成)



県立江汐公園

### そ の 他

#### ●指定管理者の指定

#### 選定基準に厳しい注文

**概要** 小野田南部地区 10 カ所の都市公園施設について嶋田工業株式会社、小野田北部地区 27 カ所および山陽地区 25 カ所の都市公園施設については山陽小野田市シルバー人材センターにそれぞれ指定するもので、指定期間は平成 24 年 4 月 1 日から 3 年間で

**主な論点** 「シルバー人材センターの指定に関し、単独指定とした経緯がいまひとつ不透明で競争原理も働いていないのはいかがなものか」「竜王山などの貴重植物について、専門知識のある業者を指定条件にすべきではないか」「選定委員も正しい知識が必要ではないか」との議論がありました。

**結果** 指摘は謙虚に受け止めるとの答弁がありました。(全員賛成)



# 委員会レポート

## ■ 自治基本条例が修正可決されました ■

平成 23 年 3 月設置された自治基本条例審査特別委員会での 9 カ月に及ぶ審議を経て、12 月議会で全会一致可決されました。“わが町の憲法”として「まちづくりの基本的ルール」を定めるもので、条例の体裁や解釈など執行部や市民との意見調整も行い、最終的に当初の市民提案に近い条例に修正されたものです。



### ● 最高規範ということ

#### 〈論点〉

自治基本条例の重みを理解しつつも、法令の体系の上で条例間に優劣はなく、「最高」という表現を条文に明記することは適切ではない」として、「最高規範」を「最も尊重すべき規範」に改めました。

(前文、第 4 条)



### ● 市民とは…

#### 〈論点〉

「あまりにも広い範囲で市政参画を認めることは必ずしも適切ではない」として、市内に住所を有する者を「市民」とし、市内に通勤・通学する者や事業所などを「市民等」に含めました。

その上で、能動的に市政に参画する場面では「市民」、受動的に要望や意見を反映させる場面では、広く「市民等」に使い分けました。

(第 2 条)

### ● 市民の知る権利の保障

#### 〈論点〉

市民の市政参加を一層明確化させるために、市民の知る権利やまちづくりに参加する権利を明文化し、市長にこれらの権利を保障する責務を課しました。

(第 5 条、第 11 条第 2 項)

### ● 市長の長期在任の是非は

#### 〈論点〉

「長期在任イコール市政活力の低下ではない」「任期も含め市長の選出については市民の審判に委ねるべきである」として、市長の長期在任について定めた条項を削除しました。

ただし、この点については 5 年以内の見直しの中で再検討されるべきであるとしていました。

(削除)

### ● 文体は

#### 〈論点〉

市民にとってより親しみやすい文体の方が望ましいとして「ですます」調に改めました。

### ● 政策形成過程まで市政の公開を！

#### 〈論点〉

政策や事業の結果だけでなく、政策形成の過程についても明らかにすることが市民の「知る権利」に資するとして、市政に関する政策形成過程の公開について明文化しました。

(第 23 条第 2 項)

### ● 姉妹都市、国際交流など

#### 〈論点〉

現在、埼玉県秩父市やオーストラリアのモートンベイ市と姉妹都市提携を行っており、幅広い交流の中で本市のまちづくりに寄与させるべきであるとして、姉妹都市および国際交流に関する条項を追加しました。

(第 33 条第 3 項、第 34 条)



# 一般質問

## 合併振興基金の有効活用について

江本郁夫 議員

**問** 合併振興基金については、そのすべてを特例債事業に充当するのではなく、一部については、本来の趣旨に沿ったソフト事業などへの活用が必要ではないのか。

**答** 合併特例債事業というのも、それに付随する一般財源の準備が必要で、基金についてはそういうものへの運用を考えていたが、本来の趣旨にさかのぼれば、もう少しこの使い方について工夫があつていいという気がしている。ぜひ参考にしたい。

### 基金の積み立て

- 1、新市町村の合併に伴う一体感の醸成に資するもの(例：イベントの開催、民間団体への助成等)
- 2、市町村単位の地域振興(例：商店街活性化対策等)

## 生活保護制度の現状と課題

石田清廉 議員

**問** 生活保護率は県内でも3番目だがその原因と現状はどのような状況か、また適正な保護行政をしているのか。

**答** 保護率は1000人当たり16.08人で宇部市、下関市に次いで高い。産炭地域だった閉山後の失業者が多かった時代が今日に至っている。保護費の支給に際しては厳正に審査し、不正受給等のないように対応している。離職者の受給者に対し就労や自立のための支援を実施している。



## 空き家条例の制定は

中村博行 議員

**問** 2年前から提案している廃屋化した空き家に関する条例制定への進展状況はどうなっているか。他の自治体では危険性、景観・環境の悪化などから続々と条例制定や制定予定と聞いているが、増加傾向にある廃屋対策は。

**答** 平成22年度の実態調査で市内に1055軒あり、その中に危険家屋も点在もしている。現在、庁内プロジェクトとして空き地空き家対策委員会を設置し、本年度中に今後の方向性を取りまとめた。



## 再開後の美祢線利用促進について

矢田松夫 議員

**問** 美祢線を生活・観光路線として位置づけよ。市独自の利用促進協議会の立ち上げはいつか。7時34分発は超満員であり、利用者のニーズに応えよ。新幹線厚狭駅を積極的に観光の起点とするべきでは。

**答** 新幹線と美祢線のダイヤ等の要望について引き続きJR西日本へ要望をする。協議会の必要性は感じており設立準備中。厚狭駅周辺のまちづくりと関連し、官民一体となり継続的に利用促進を図る。観光については、長門・美祢市と連携し力を入れていく。



再開した美祢線

# 一般質問

## 新ごみ処理施設運営はどうするか

衛藤弘光 議員

**問** 20年間の総事業費はいくらか。また、施設の運営方針であるが、萩・長門はDBO（設計、建設、運営）で決まったが、本市の方針は。また住民への周知徹底はどうするのか。

**答** 総事業費は建設費を含めて約97億円である。施設の建設は公営と方針は決めたが、事業運営については検討中でありDBOは考えていない。住民への説明は地元自治会の班回覧であったので、今後の検討課題とする。



老朽化したごみ焼却場

## 医師確保と収支は大丈夫か？

伊藤 實 議員

**問** 収支計画は現在より7人増員の医師30人で想定されているが、当市の医師求人条件は県内最低の報酬額であり、研修医制度もできない状況である。医師確保ができなければ収支計画に大きな差異がでるがどうか。

**答** 経営的には大変厳しい状況である。また、現状では研修医に来てくれとは恥ずかしくて言えない。



## 「心豊かなまちづくり」と学校給食

岩本信子 議員

**問** 食は生きる基本であり、調理する人や、匂いや音は子供たちの感性や価値観にも影響する。また自校方式による給食調理では、「いただきます」「ごちそうさま」「おいしかったよ」と調理員に声を掛け合う環境があり、「心豊か」に通じると考えるが、まな板も包丁もない工場で作り運ばれて来る給食には「心豊か」はあるのか。

**答** 共同調理場で、たくさんの調理員がしっかりと心を込めて心豊かに作っていると考える。



楽しい給食のはじまりです

## 「赤ちゃん」にやさしいまちへ！

吉永美子 議員

**問** 公共施設における赤ちゃんのための施設整備状況について聞く。調査によると、中央図書館は「朗読室、児童コーナーで授乳が可能」とのことだが、これで満足しているのか。赤ちゃんを連れて外に出やすい環境整備は、子育て支援策につながると思う。まず現状をしっかりと把握し、年次的な計画を立て取り組みを進めるべきではないか。

**答** 中央図書館の朗読室がどこにあるかわからないが、専用の部屋でないのはわかる。年次計画を考える。



これでも授乳室？職員が大変（中央図書館）

# 一般質問

## 新年よりエリアメール開始へ

伊藤 武 議員

**問** 9月議会でエリアメールを活用した安心・安全なまちづくり推進を他市に負けずに取り組むよう提案していたが、どのように進めたか。

**答** 来年1月より無料で、市内全域のNTTドコモ対応機種携帯へ「避難準備情報、避難勧告、避難指示、緊急地震速報、津波警報、大津波警報」の重要な防災情報を受信することができる。現在の防災メールの登録者は約1800人で、他社携帯電話の場合は、緊急地震速報のみが発信される。



## TPP参加交渉と農政の影響

河崎 平男 議員

**問** TPP参加により、国内の農産物が売れなくなり、農家の減少や廃業につながる。さらには安全基準が低くなり、食の安心安全が心配されるが、トレーサビリティ（栽培履歴）やポジティブリスト制度（農薬の使用基準）が揺らぐのではないか。

**答** TPP問題もあり、農業を取りまく環境は、大変厳しい状況にあるが、食の安心安全をどう確保するか、市としても総合計画に掲げる担い手の育成や農業基盤整備等の施策を実施する。



安心安全な地産野菜

## 中山間地域の活性化について

松尾 数則 議員

**問** 中山間地域の振興について現況はどうか。

**答** 地域の実態調査を行い、意見をお聞きしている。国や県の施策変更を考慮し有効な手段を図りたい。携帯電話の不感地域の解消等情報ネットワークの改善については、県と共に要望していきたい。自然環境や地域資源を活用した6次産業、バイオマスエネルギー、スロートーリズムについては、新たな産業を生み出す可能性があり、中山間地域活性化の一つの手法と考えている。



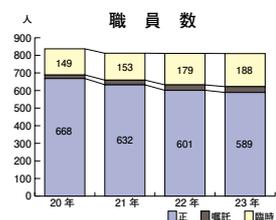
平沼田地区の小型竹炭窯

## 適正な職員数の調査を

河野 朋子 議員

**問** 一般会計の職員数は確かに平成20年より79人削減しているが、嘱託・臨時職員が52人と大幅に増えていて、単に正規を嘱託や臨時で置き換えただけではないのか。現在の職員数が適切な定数といった考えを変え、各課で何人必要か客観的な判断が必要だと思う。そのために事務量の調査をすべきではないか。

**答** 財政的に苦しいため新規採用を抑えた結果である。事務量調査は現実的に難しいので、人事ヒアリングの中で聞き取りをしている。



職員数の推移

# 一般質問

## 「学校給食のあり方」まともな議論を

山田伸幸議員

**問** 「検討会議」で配られた給食方式の資料は公平な資料と言えるか。また、市教委はアレルギー対策を給食センターでも「できる」としているが、他市では「本人の顔が見えないのでアレルギー対応食は出せない」としている。市教委はセンターで作ったものが本人の元に届く保証があると言えるのか。

**答** ものにはいろいろな見方がある。公平かどうか極めて難しい判断だ。教委は教委の立場で責任を持った案を出した。センターでのアレルギー対応食はもちろん、そういう方法で考えている。



## 当市施設の修繕の状況は？

平原廉清議員

**問** 要修繕施設の把握はどのようにやっているのか。

**答** 施設の所管課が日常点検を行い、当初または緊急時には補正で予算要求を行い維持管理している。これらは所管課が個別に行ってきたため、一元的な把握はしていない。平成20年9月に、施設の適切な維持管理及び効率的な予算執行をするため、市内に公共施設維持管理検討委員会を設置し、要修繕施設の把握や適切な修繕工法に関する指導等を行うことを職務としている。



## 小学校校庭の芝生化を

中島好人議員

**問** 芝生化を行った宇部の藤山小学校に行っ  
て見て驚いたことは、グラウンドに子ども  
たちがまちまちに遊んでいて、中には寝転が  
っている子どもたちもいた。芝生化は、体感温度  
が2度下がるエコであり、目にも優しく転ん  
でもけがをしない。砂の流出を抑え、地域の人々  
との交流の場にもなっている。予算も120万円  
で済んだ。芝生化の検討をしてはどうか。

**答** 予算と合わせて維持管理における地元の  
自発的な協力が得られるならば検討する。



芝生化された校庭で遊ぶ子どもたち

## コンビニ収納の実現を！

大井淳一郎議員

**問** コンビニで税金等を納めることが可能になると、昼間働いている人のみならず、自宅近くに銀行がないお年寄りや障がい者の利便性にも資する。実現の見通しは。

**答** 収納率の向上が見込めず、新たな財政負担（約500万円程度）も生じる。しかしその反面で、住民サービスの向上や収納業務の負担軽減に効果があると認識している。今後、納付方法の大きな柱となると予想されるので、行革プロジェクトの中で引き続き検討していきたい。



納付書のサンプル



# 議会報告会

## ◎第2回議会報告会を開催しました

9月定例議会の議会報告会を、10月12日から18日まで市内6会場で開催しました。平成22年度決算審査を中心とした今回の議会報告会は、全議員による各委員会の審査内容の説明や当日の運営など事前に役割分担を徹底。会場のご質問やご意見にも丁寧に答える努力がされました。今回は議会報告会の告知を市広報による「お知らせ」だけに限定したために、多くの方から告知方法の改善についてご要望をいただきました。

- 10月12日 きらら交流館 17人
- 10月13日 市民館 19人
- 10月14日 高泊公民館 10人
- 10月15日 出合公民館 5人
- 10月17日 津布田会館 6人
- 10月18日 厚陽公民館 9人



議会運営についても質問を多くいただきました

### 会場での主な質問・意見

●厚陽小学校改築で市有林活用の意図は。

〈回答〉市価の五分の一程度の予算でできるとの説明がされた。

●転入促進条例は住みよい町にすることが先決ではないのか。

〈回答〉この条例を第一歩とし、第二、第三の施策を期待する意見が強くあった。

●ジェネリック薬品の積極的な使用について

〈回答〉検診の受診率アップやジェネリック薬品など積極的に取り組みたい。

●暴力団排除条例ができたが、きらら交流館では今後どのように対応されるのか。

〈回答〉条例には実効性確保のために附帯決議を付けたが、今後具体化を期待したい。

●職員の人事異動が多すぎるのではないのか。

〈回答〉今後議会としても提案していく。

●800事業もある中で、決算特別委員会が34事業を事業評価に選んだ基準は何か。

〈回答〉各常任委員会で選定したが、現時点で提出できた事業が34だった。

●議員は執行部へのチェック機能強化を。また市の行事に議員の参加が良くないのでは。

〈回答〉協働のまちづくりを市民と一体で進めるうえで議員の参加が十分とは言えない。ぜひ議長に進言したい。

●費用弁償など委員会審査の効率化を図れ。

〈回答〉議会閉会中のみ、委員会審査では議員一人2000円の出務手当が支給されるが、議員報酬とは性格が違い二重取りではない。

●改選後2年が経過したが、公約実施の状況など議会だよりに掲載してはどうか。

〈回答〉議会だよりは議会の情報が中心で、議員個人の評価などは載せられない。

●消防の埴生出張所の増員はどうなる。

〈回答〉埴生出張所は8人を13人に増員の予定。

●議員定数削減に関して各議員の意見は。

〈回答〉議員定数問題は今後議会内で検討がされると思うので、個人的見解は控えたい。



# 視察報告

## ◎会派「日本共産党」

視察者 ■ 中島好人、下瀬俊夫、山田伸幸

視察日 ■ 10月4日～7日

.....  
＜千葉県野田市 初めて「公契約条例」を制定＞

「官製ワーキングプア」を生まないために全国に先駆けて制定され、平成22年度の工事・業務契約から下請負を含め労働者の最低賃金が保障されています。工事請負5000万円以上、業務委託は1000万円以上の契約が対象です。

＜埼玉県朝霞市 学校給食をセンターから自校方式へ＞

学校給食検討委員会が1年間かけて22回の委員会を開催し、詳細な報告書を提出。まず小学校2校が自校方式に変更されました。きめ細かいアレルギー対策や栄養士によるランチルームを活用した「食育」推進が図られています。

＜東京都多摩市 事業評価による決算議会＞

9月議会前に決算書と「決算事業報告書」(2分冊)が配布され、各会派で検討・評価・調整した後、決算特別委員会の審査をへて議会自身の「評価シート」を作成。各会派の事業評価を含めて「議会だより」に公表されます。

＜長野県松本市 市民に開かれた議会改革＞

議会改革推進の4部会(①政策②広報③交流④進行管理)が設置され、各常任委員会の「政策テーマ」に沿った各種団体との「政策討論会」や公募市民20人による「ステップ市民会議」

(無報酬)から議会への提言などが行われています。



松本市役所前にて

## ◎会派「進化」

視察者 ■ 伊藤 實 大井淳一郎 硯谷篤史

高松秀樹 松尾数則 三浦英統

視察日 ■ 11月15日～17日

.....  
＜神奈川県三島市の環境施策について＞

ISO14001を取得後自己適合宣言を行い、より柔軟な行政ISOを構築しています。参考にすべき点は、環境マネジメントの適用範囲の広さで市のすべての施設を対象にしていることや、環境リーダーの育成に努めていることでした。結果として市の環境負荷低減活動の10年間の実績は、ごみの排出量46%減、事務用紙の使用量45%減、公用車燃料使用量35%減、水道水使用量30%減でした。

＜千葉県銚子市立病院の中止・再開について＞

病院経営の財政悪化が原因で大学からの医

師派遣が困難になりました。平成19年には医師の数も12人となり、前年比で8億7300万円の収益減となり、県との協議を行い、休止を決定しました。休止後は同場所で夜間小児急病診療所を開設しました。平成22年に医療法人財団銚子市立病院再生機構により銚子市立病院の診療を再開しています。

＜千葉市議会の議会改革について＞

議場へのパソコン持ち込みは可能ですが、打ち込みは禁止しています。また、傍聴者への説明を含めて、大型スクリーンを設置し、パソコンを利用するの説明も可能です。



千葉市議会議場

## ◎ご存知ですか？本会議のインターネット中継

市議会では、多くの市民の皆さまに市議会の状況をご覧いただくため、12月定例会から、本会議のすべての映像をインターネットで配信しています。これにより一般質問だけでなく、議案の説明、質疑、採決の様子もご覧いただけます。映像配信には、ライブ（生）中継と録画中継があり、録画中継は、ライブ中継終了後の約7日後から見るができます。

なお、本会議の映像は、市ホームページの中の市議会のページから見るができます。



また、各公民館ではライブ中継をご覧いただけます。3月定例会をご覧になりませんか。

## ✿ 3月定例会本会議日程（予定）

月 日	内 容
2月27日(月)	議案上程
3月7日(水)	質疑・採決
3月8日(木)	一般質問
3月9日(金)	一般質問
3月12日(月)	一般質問
3月13日(火)	一般質問
3月28日(水)	質疑・採決

※開会時間は午前10時です。

### ニュース

## 企業誘致フォーラムを開催予定

### おいでませ山陽小野田企業誘致特別委員会

小野田・楠企業団地は平成15年の分譲開始以来、企業誘致が実現しておらず、山陽小野田市の大きな課題となっています。

昨年10月に大阪、東京の山口県事務所、経団連およびUR都市機構を訪ね、企業の立地情報の提供を依頼しました。

さらに、特別委員会では夏に“企業誘致フォーラム”の開催を予定しています。委員会一丸となって誘致に取り組んでいきますので、市民の皆さまもぜひ情報をお寄せください。



小野田・楠企業団地

## 編集室より



寒気厳しき時節ですが、草木は春を知らせる芽を吹き始めています。

12月議会閉会、御用納め、新年互礼会、出初式、成人式とハイスピードで、各種行事が進行される中で、その速さに遅れをとってはならじと、第26号をお届けします。

1カ月少々での期間での発行で、多少の不安を抱えての紙面となっていますが、読者各位の叱責、指摘を期待いたします。

### ◎広報広聴特別委員会

委員長 河野 朋子	副委員長 下瀬 俊夫
委員 石田 清廉	委員 伊藤 武
委員 硯谷 篤史	委員 高松 秀樹
委員 平原 廉清	委員 山田 伸幸



《表紙の説明》 江汐公園が県から山陽小野田市へ移管されることになり、園内施設の状況を視察して歩きました。ちょうど江汐大橋の改修中で、そのほかに補修が必要な遊具などがありましたが、移管までには補修されることになっています。